

イチゴ

1 畑の準備

土作り

植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。



土作り
・苦土石灰: 1㎡あたり100~200g
・JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg

元肥・うね立て

植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行います。

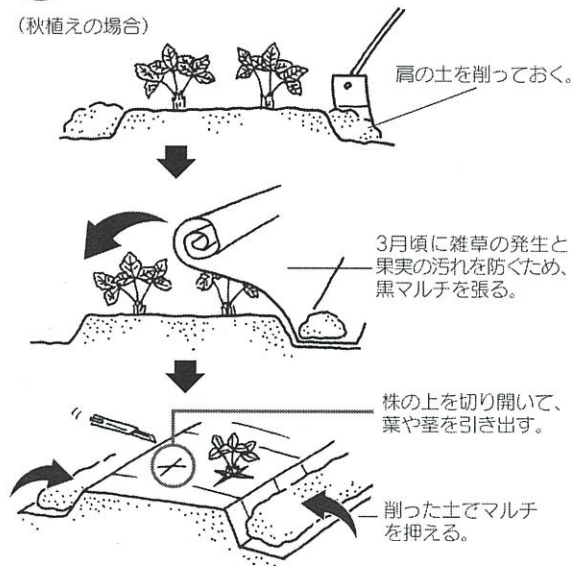


水はけの悪い場所では30cm位の高うねにします。

元肥
・JAファームやさいの元肥: 1㎡あたり150g(ひと握り約40~50g)

4 マルチ張り

(秋植えの場合)



株の上を切り開いて、葉や莖を引き出す。

削った土でマルチを押える。

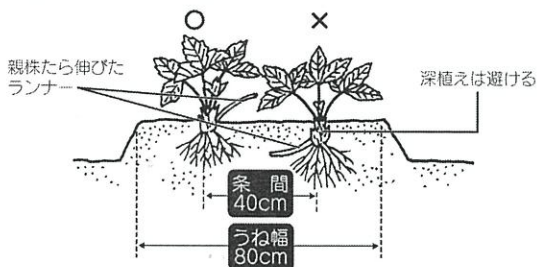
2 苗の選び方・植え付け

苗の選び方



植え付け方

植え付けは株元についているランナー(親株から伸びたつる)の跡を、うねの内側に向けて植えると、花が反対側についてくるので管理がしやすいです。植え付け後は、十分に水を与えましょう。



5 収穫

実が成りはじめたらネットなどで鳥の食害対策をしましょう。果実が真っ赤に熟したものから収穫します。



3 追肥

追肥

追肥は、植え付け後約1ヶ月後に、「JAファームらくらく有機100%肥料」を1株あたりひとつまみまきます。



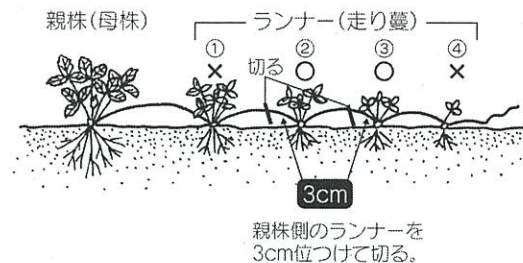
秋植えの場合、冬の間株の下の方の枯れた葉や傷んだ葉を、小まめに取り除く。植え付け後に、伸びるわき葉は、花をつけることもあるのでそのままにして残すこと。



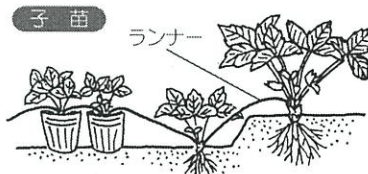
6 苗の取り方

親株より伸びるランナーを利用し、子孫を株分けし苗を確保します。

ランナーから出た2番、3番目の苗を使う。



親株側のランナーを3cmつけて切る。



ランナーを付けたまま鉢上げし育苗する方法もある。

科名	バラ科
原産地	南アメリカ・北アメリカ
連作障害	あり(1~2年)

制作
JAファーム 専門部会
(無断転載禁止)